1 日 時

平成 28 年 1 月 26 日 (火) 午前 10 時~11 時 30 分

2 場 所

小平市健康センター 第2・3会議室

3 出席者

○小平市環境審議会委員 10名

奥真美会長、細江卓朗副会長、石井佑委員、泉慎一委員、栗原道彦委員、 柴尾裕美委員、猪熊勇一委員、小川泉委員、市川徹委員、中島裕輔委員

○事務局 12名

環境部長、環境政策課長、環境政策課長補佐、環境政策課主任、環境政策課主事、資源循環課長、資源循環課長補佐、水と緑と公園課長、水と緑と公園課長補佐、下水道課長、下水道課長補佐、下水道課計画担当係長

4 傍聴者

2名

5 議 題

- (1) 小平市地域エネルギービジョンの中間見直し(最終のまとめ(案)) について
- (2) 小平市下水道プラン後期計画の見直しについて
- (3) その他

6 配付資料

- ・小平市地域エネルギービジョン中間見直し(最終のまとめ(案))の概要(資料 1-①)
- ・小平市地域エネルギービジョン中間見直し(中間のまとめ)に対する審議会意見、市民意見への対応(資料 1-②)
- ・小平市地域エネルギービジョン中間見直し(最終のまとめ(案)) (資料 1-③)
- ・小平市下水道プラン後期計画見直しの概要(資料 2-①)
- ・小平市下水道プラン後期計画見直し素案に対する審議会等意見への対応(資料2-②)
- ・小平市下水道プラン〜快適な生活環境を支える下水道〜後期計画(案)(資料2-③)

7 主な意見

(小平市地域エネルギービジョンの見直しについて)

・家庭部門のエネルギー消費量の動向については、一世帯当たりの原単位エネルギー消費量についての記述も加えた方がよい。

- ・家庭部門の平成24年度のエネルギー消費量が前年度から増加していることの理由として、世帯数の増加ということであるので、その根拠となる世帯数の推移の資料については平成23年度と平成24年度が比較できる内容にするべきである。
- ・バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化については、成果指標である食物資源循環モデル事業の概要についての記述がほしい。
- ・公共施設への太陽光発電システムの設置については、施設全体の電力使用量に対して、自然 エネルギーでどれだけ賄っているのかというトータルの数値の公表を検討してほしい。

(小平市下水道プランの見直しについて)

・雨水の整備計画の図には主要な道路や鉄道を載せて、地理的な目安がつけられるようにしてもらいたい。